



平和願う「笑顔の傘」満開

姫路でメリー・アンブレラ・プロジェクト

災害被災地の子どもたちの笑顔をプリントした「笑顔の傘」で平和を願う「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が24日、姫路城に近い姫路市本町の大手前公園であった。プロジェクトを企画した東京のアートディレクター水谷孝次さん(59)が、同公園で開かれた「国際交流フェスティバル」の開会式に登場し、合図と共に市民や外国人ら約40人が、一斉に傘を開いた。その後、同フェス来場者に声をかけながら参加者を募って姫路城まで行進し、全員で記念写真を撮った。

平成の大修理が進む姫路城を背景に広げられた笑顔の傘―姫路市本町

を訪ねて撮影した。「子どもたちの笑顔は純粹で未来に向かって希望を持っている。笑顔を見て、メリー(楽しい、幸せ)な気持ちを感じて欲しい」と水谷さんは話した。



2010年(平成22年)
10月25日
月曜日